

農事組合法人 大春の里

(福岡県うきは市浮羽町)

活動の概要

- 自然豊かな浮羽町の環境を守っていききたい、孫に食べてもらえる農産物を作るといふ思いから、小麦を中心に稲作、大豆、そば、菜種などの生産を行っている。
- 平成20年菜種油の搾油販売を始めた。搾油後の菜種油粕はペレット化し、循環型農業の取組を行っている。
- 菜種の圃場は、道の駅うきはの高台から見下ろせる場所にある。菜種の開花時期は、うきは市と連携して「菜の花まつり」を開催し、例年、町内外の方々、子どもたちが参加するイベントとなっている。
- 飲食店と連携して開発した「菜種油を使用したマヨネーズ」や、九州産業大学の学生と連携して開発したうきは産のトマトと菜種油を使用した「トマトドレッシング」の商品化、販売を行っている。
- 当組合の菜種油は、うきは市内の小学校、中学校の学校給食にも使用され、揚げ物が美味しいと子どもたちの評判もよい。

背景・経緯

- 平成18年 「大春の里 営農組合」発足
- 平成20年 菜種油の搾油および菜種油の販売開始
- 平成22年 「農事組合法人 大春の里」法人設立
- 平成24年 菜の花畑が見える施設にて「菜の花まつり」をうきは市と連携し開催（平成30年以降、「道の駅うきは」で開催）
- 平成25年 「菜の春オイル」として商品名変更・商標登録認定
うきは市内の小学校・中学校の学校給食に採用
- 平成28年 地元飲食店と菜種油を活用した商品開発・販売開始
- 平成29年 九州産業大学と連携し ドレッシング開発・販売開始
- 平成29年度 福岡県売れる6次産業化推進事業に採択され、菜種油および菜種油を活用した商品のオリジナルギフト商品開発・販売開始
地域の休耕地を活用したそばの栽培に力点をおき、加工した乾麺の販売に注力（平成29年度以降）



菜の花の景観美



菜の春オイル



詰め合わせギフトセット